

—— 猫の絵が呼んだ“小さな奇跡”たち ——

【上映会】

# ミリキタニの猫

## 《特別編》



国家と俗世間に対峙する  
アーティストとしての強い自持。  
その姿には重みと同時に  
軽みもあって、自由のあり方を  
私たちに問いかける。  
谷川俊太郎

ニューヨークの片隅で“尊厳”と“やさしさ”が出合ったドキュメンタリー

# ミリキタニの猫《特別篇》

2019年上映

《特別篇》とは2本立て

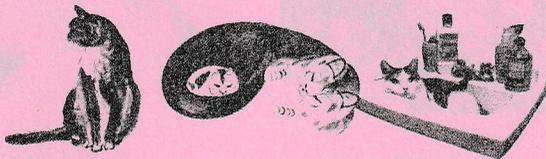
### ミリキタニの猫

10周年記念アンコール!!

### ミリキタニの記憶

新作の短編が同時上映!!

- 観客賞 トライベッカ映画祭
- ノルウェー平和映画賞 トロムソ国際映画祭
- 観客賞 パリ国際映画祭
- 作品賞 “日本映画・ある視点” 東京国際映画祭
- 観客賞 ワシントンDC 国際映画祭



ミリキタニの猫《特別篇》 配給・宣伝：湖時八丁目 宣伝：スリーピン [www.nekonomirikitani.com](http://www.nekonomirikitani.com)

① ミリキタニの猫 原題：The Cats of Mirikitani 監督/製作/撮影/編集：リンダ・ハッテンドーフ 製作/撮影：マサ・ヨシカワ 編集：出口景子 音楽：ジョエル・グッドマン  
2006年/アメリカ/74分/DCP・ブルーレイ © Lucid Dreaming, Inc. ② ミリキタニの記憶 監督/製作：Masa 編集：出口景子 石田優子 杉田協士 撮影/スチール：御木茂則 戸澤明子  
音楽：SKANK/ スカンク 2016年/日本/21分/DCP・ブルーレイ © masahiro yoshikawa

初公開から10年以上を経てなお支持されるドキュメンタリー『ミリキタニの猫』(74分)と、その制作から10年後、新たな驚きを持って生み出された短編ドキュメンタリー『ミリキタニの記憶』(21分)の2本立てをご堪能ください。各回とも、2本立ての上映後、プロデューサーのマサ・ヨシカワ氏をゲストにトークイベントも実施します。さらに上映日8/17(土)限定で、ジミー・ミリキタニの作品5点を、映像ホール前の回廊にて展示。お楽しみください!

2019年8月17日(土) ①10:00~ ②13:00~ ③16:00~

●大人400円 / 小中学生100円 ●各回定員120名 ●申込不要・当日先着 ●各回30分前に開場

●あーすぷらざ 5階 映像ホール

※各回お並びいただいた順に入場。前売りはありません。※定員に達した場合は入場できませんのでご了承下さい。

二〇〇一年初頭、真冬のニューヨーク。一人の女性監督が「ジミー・ミリキタニ」と名のる老人に手持ちのカメラを向ける。なぜジミーはニューヨークの路上で暮らし、なぜ猫を描き続けるのか…。長年、あーすぷらざの来館者から、多くの上映リクエストを受けていた名作ドキュメンタリー。鑑賞後、あなたはきっと、本作が時代をこえて上映される理由を感じる。ぜひ、スクリーンで!

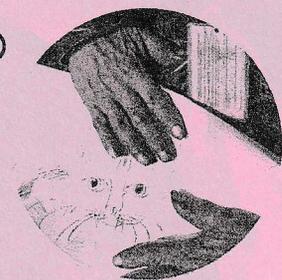
# 2本立て《特別篇》(上映時間計95分)

## ① ミリキタニの猫 (リンダ・ハッテンドーフ監督/2006年・74分)

頑固でワイルドだけど、おちゃめな面もある日系アメリカ人画家は80歳。サクラメント生まれでヒロシマ育ちのおじさんだ。2001年には世界貿易センターに近いニューヨークの路上で猫を毎日毎日描いていた。巨匠アーティストなのか? サムライ? いや、空手チャンピオン?

「日系人強制収容所」にいた? 「市民権放棄」ってなに?...

猫だけでなく広島原爆や収容所も描く彼は、絵を通して激動の生涯を表現していたのだった。時には笑いを誘うミリキタニの振る舞いをみているうちに、戦争に翻弄された人生が明らかになる。アートは強く生きる力とトラウマの癒しをもたらした。喪失と再生を描いて、心のぬくもりと希望を与えてくれる一篇。偶然の出会いをきっかけに、小さな奇跡の連続が紡ぎ出した魂の救済のストーリー。



過去の過ちを繰り返すのか...  
今の時代に必見の一本

## ② ミリキタニの記憶 新作 [短編](Masa監督/2016年・21分)

尊厳を保ちながらもファンキーだったミリキタニ。「ミリキタニの猫」公開後に分かった驚きの事実と出会いの数々。東京、広島、そしてニューヨーク...証言、写真と新発見の絵によって知られざる過去が明らかになる、ミリキタニをめぐる追悼の旅路。



賞賛のコメントが続々と... (コメントは公式サイトなどでご覧下さい)

山田太一/脚本家・作家 寺島進/俳優 石内都/写真家 小林保彦/青山学院大学名誉教授  
矢内原美邦/ニポロール主宰、振付家 小山田壮平/ミュージシャン 最相葉月/ノンフィクションライター  
柴田元幸/翻訳家 新井卓/写真家・ダゲレオタイプリスト 謝孝浩/文筆家・アスリート 森山直太郎/歌手  
クラフト・エヴィング商会(吉田浩美 吉田篤弘)/作家・装幀家 御徒町胤/詩人 本谷有希子/作家・劇作家  
七尾旅人/シンガーソングライター 谷川俊太郎/詩人 篠原勝之/ゲージツ家(KUMA)  
フランソワ・デュボワ/作曲家 岡崎乾二郎/造形作家 Altneu(島地保武×酒井はな)/ダンサー  
山口洋/HEATWAVE・ミュージシャン 鏡リュウジ/占星術研究者・翻訳家 ロバート・ハリス/作家・ラジオDJ ...



映画『ミリキタニの猫』は、めったにない出会いにはじまり、めったにない出来事をきっかけに、めったにない共同生活を経て、これもめったにあるとはいえないひとまの幸福なシーンで終るドキュメンタリーだが、見終わるとその「めったにないこと」が実は過去でも現代でもどこにでも起こりえる出会いであり悲劇であり希望でもあることを見事に語っていて、その柔らかくて力強いスケールの大きさに深い敬意を抱いた。

山田太一(脚本家・作家) \*「ピース・キャッツ」(ランダムハウス講談社刊)より

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーる ぷらざ  
Tel:045-896-2121

私たちが地球に暮らす一員として、日々の生活の中で考え、自分のできる身近なことから行動していくための総合的な学習施設です。  
〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 指定管理者: 公益社団法人 青年海外協力協会  
gakushu@earthplaza.jp http://www.earthplaza.jp

